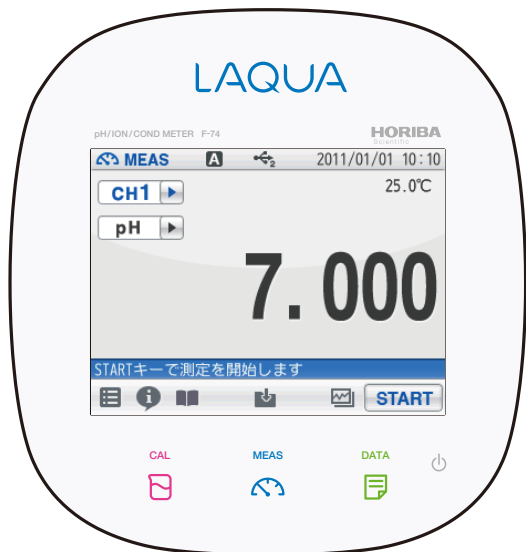


LAQUA

クイックマニュアル 卓上型 pH・水質分析計 F-72、73、74



HORIBA
Scientific

CODE : GZ0000251376B

January, 2017 © 2017 HORIBA Advanced Techno Co., Ltd.

準備

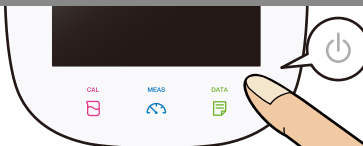
① pH標準液を用意する



② 電極を本体に接続する

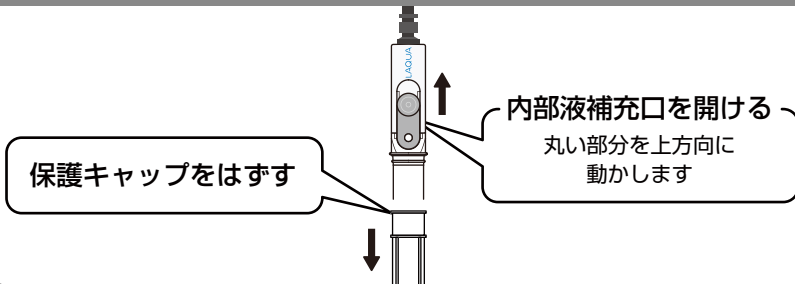


③ 本体の電源キーを押す



- ☆ 2秒間長押しにて起動します
- ※ ACアダプタ接続後は10秒間お待ちください

④ 電極の保護キャップをはずし、内部液補充口を開ける



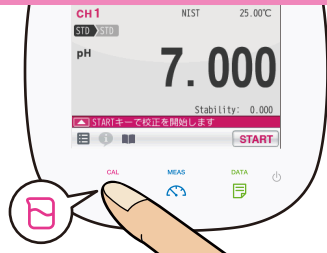
保護キャップをはずす

内部液補充口を開ける
丸い部分を上方方向に
動かします

校正

測定サンプルが酸性側ならpH7とpH4の2点校正、アルカリ性側ならpH7とpH9の2点校正をおすすめします
サンプルのpH値がわからないときはpH4・pH7・pH9の3点校正をおすすめします

① 校正モードに入る



② 1点目校正開始

pH7標準液に電極を液絡部が浸かるまで浸漬します



瞬時値の安定を見て
タッチパネルの
START キーを押します

Hold が点滅から点灯になったら校正
終了です

測定へ

または、



STOP キーで
2点目の校正へ

③ 2点校正開始

pH4標準液に電極を液絡部が浸かるまで
浸漬します



瞬時値の安定を見て
タッチパネルの
START キーを押します

Hold が点滅から点灯になったら校正
終了です

測定へ

または、



STOP キーで
3点目の校正へ
※3点校正する場合は、予め
校正設定にて校正点数の
設定が必要です

④ 3点校正開始

1点目と同様にpH9標準液に電極を液絡部が
浸かるまで浸漬して校正します

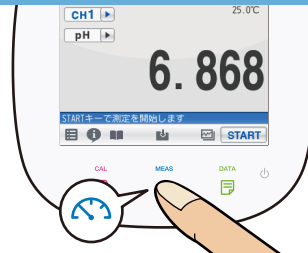


※校正の方法は1点目、
2点目と同様です

測定へ

測定

① 測定モードに入る



② 測定開始

試料に電極を液絡部が浸かるまで浸漬します



START キーを押します



Hold が点滅から点灯に
変わったら測定終了です

③ 測定終了